

第二二五回ペン川柳会

令和五年二月二十七日

お題 「誘・誘う」

■ 八木(明迷)
めいめい

つれあいの 小言が強い 誘眠剤
勧誘の 電話に聞こえぬ ふりとボケ

■ 西川(酔雅)
すいが

誘うのは 同性ばかりの 八十路かな
誘われて 思わずニヤリ 夢の中

■ 浜田(我々好)
ウイスキー

好きだよと 誘った口に いまはトゲ
オフレコね 甘い誘いが 落とし穴

■ 稲宮(井波)
いなみ

誘われず カモにもされず 枯れすすき
フェロモンに 誘われたのは 夢だった

■ 塚田(拿々)
だだ

流し目につい誘われて 泥沼に
誘われて 持てているのは 交際費

■ 安藤(晃二)
てるつぐ

セクハラよ いやありえへん その顔じゃ
無関心 装うおんな 脈伝え

■ 大野(だし)

スキー、乗馬 亭主探しの 女子社員
一人旅 月の比叡で 君惚ぶ

■ 松谷 (零門)
れいもん

美味そうな料理ずらりに 箸迷う
呆れるね 儲けの誘い 乗る富豪

世話人 塚田 實(拿々)
ただ

■ 三春 (火酒)
ウオツカ

鬼嫁が 赤鬼誘って 豆で呑む
小悪魔に 尻毛抜かれる 小悪党

■ 山縣 (安兵衛)
やすべえ

誘惑に 弱いんだなあ まあ一杯
誘われて それを逃げるは 苦手なの

■ 曾山 (酩帝)
めいてい

八十路だが 色香の誘い 乗れやせぬ
家内とは 俺が誘って 皆円満